

【ケース5】 施設紹介会社よりご相談

入居検討の女性。遠方に住む親族が身元保証人になってくれるが、緊急時の対応が難しい。終活コンシェルジュさんで代行していただけますか？

入居を検討している女性。親族はいるが、娘は海外、姪は北海道に住んでいる。
入居時に必要な身元引受け人・連帯保証人は姪が引き受けてくれた。
ただ、二人とも遠方のため、緊急時の駆けつけが難しい。
緊急対応の役割として、終活コンシェルジュの身元保証サービスを使いたい。



ご本人情報

[年齢] 92歳

[認定] 要介護2

[病歴] アルツハイマー型認知症

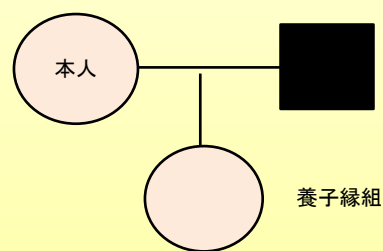
[ADL] 一部介助

[経済状況] 年金(20万円/月)
預貯金(1,000万円以上)

[家族の意向]

・お金の管理や定期的な面会などは親族でできるので、緊急時の駆けつけだけをお願いしたい

ご家族の状況



- ・娘(養女)はハワイ在住
- ・北海道に住む姪がキーパーソン

必要とされている支援

入所後の身元保証 (緊急時の対応)

支援内容と動き

1.
施設入所予定の方の娘と姪に、身元保証サービスについてご説明。
緊急時の対応を終活コンシェルジュが行なうことにご納得いただいた。

2.
ご入居契約の際に、弊社との身元保証契約を締結。ご本人は認知症のため、同席した親族が代わりに契約を行なった。

3.
ご入居後は、親族との報告・連絡を取りながらご支援継続中。

親族と終活コンシェルジュが役割を分担して、施設での生活を安心して過ごせるようサポートしています。



支援のポイント

◎遠方であるために難しい『至急を要する駆けつけ』など、終活コンシェルジュが緊急連絡先となり対応